

2. 競技区分毎の登録について

主 旨

近年の競技者においては競技区分を重複して、競泳と水球の公式大会に参加するというような事例は少ない。このような現状を踏まえ、これを競技区分毎の登録制度に改正する。これにより、管理・情報の面から、次の効果が期待できる。

- 1、競技区分毎の登録をすることで、各競技毎の競技者数を確実に把握することが可能となる。
- 2、各競技の発展のためにも、競技毎の登録料を徴収することで、各競技毎の収支状況を把握することが可能となる。

《競技区分追加条項》

- ①競技者は、自らが登録しようとする競技区分を選択しなければならない。
- ②登録をしていない競技区分の競技会への出場は出来ない。
- ③登録料については、登録競技毎に発生する。

ただし、重複登録についての減額等については、今後の検討課題とする。

(競技区分とは、競泳・飛込・水球・シンクロ・日本泳法・OWSをいう。)

〈実施時期〉

平成 19 年 4 月分登録より